



常唱殿を参拝する檀信徒の皆さん

# 形満

復刊第十二号

2011年8月

身延別院発行

〒103-0001

東京都中央区

日本橋小伝馬町3-2

Tel 03-3661-3996

Fax 03-3663-2766



## 檀信徒の皆さんが団参

富士山経ヶ岳大祭が七月四日に営まれ、身延別院から藤井教祥副住職はじめ檀信徒の皆さんら計八人が団参に訪れました。

今から七百五十有余年前、日蓮聖人は鎌倉幕府に対して「立正安国論」を奉進されましたが、聞き入れられず、鎌倉から身延山へと向かわれました。そして文永六年(一一六九年)の夏、法華経による天下泰平・国土安穩を願い、現在の山梨県富士吉田市に住んでいた塩谷平内左衛門の案内により、富士山の中腹五合五勺の地を訪れ、みずから書写された法華経を埋経されたのでした。この地が経ヶ岳です。「宗祖埋経霊場」とも呼ばれています。

それ以降、塩谷家がこの地を守ってきましたが、廃仏毀釈などを経て荒廃寸前となりました。昭和二十七年(一九五二年)には、身延別院の初代住職、藤井日静上人(後の身延山八十六世)がこの地を訪れ、富士山麓鉄道(現在の富士急行)社長、堀内一雄氏とともに霊跡の復興計画に着手しました。全国から浄財を募り、翌年には常唱殿を建立しました。

以後、経ヶ岳は身延別院第二世、藤井日光上人(後の身延山九十一世)、身延別院第三世(現住職)に受け継がれ、代々守られてきました。が、平成十七年(二〇〇五年)にその管理・運営を身延山久遠寺に受け渡しました。現在では久遠寺の直轄地となっています。

当日は身延山より布教部長、布教部の各上人、僧道実修生、各地から有縁の各上人、檀信徒さんらがたくさん集まり、常唱殿でお自我偈やお題目を唱えました。(5ページに写真特集があります)(平山)



通称で「大寺」と呼ばれている盛隆寺本堂

## 御首題を いただく旅

第十二回 岡山県岡山市・盛隆寺

### 妹尾法華の中心寺院

法華霊場千か寺参りで私がいただいた御首題は千百か寺あまりとなりました。身延別院に初めてお参りしたのは、二〇〇六年九月十日のこと。五十五番目に訪ねたお寺でした。そのころはまだ「千か寺参り」のことなど全く意識していませんでした。この五年ほどの間に、息子の中学受験があったり、娘の大学受験があったりと、わが家族にもいくつも出来事がありました。

その都度、身延別院のご住職や奥様、副住職などお寺の皆さまに話を聞いてもらい、励ましの言葉をいただき、時々課題を乗り越えてきました。私自身も、千か寺参りを続ける中で、家族や友人、知人の幸せを願って、祈りを捧げてきました。早いもので、今、娘は大学三年生、息子は高校二年生。来年は娘が就職活動、息子は大学受験と、またチャレンジのときを迎えます。私の願い事はまたまた増えそうです。同時に、ご住職やご家族にアドバイスをいただく回数も増えそうです。

そういうこともあって一日にたくさんのお寺をお参りしたいと思うのですが、都内や千葉のお寺はほとんどまわってしまいました。そこで、今年五月のゴールデンウィークに岡山市を訪ねてきました。岡山県すなわち備前国は、「備前法華に安芸門徒」と言われるように、日蓮宗のお寺がたくさんあるところなのです。(広島県は浄土真宗のお寺が多いそうです)。中でも、



岡山市妹尾(せのお)地区は「妹尾千軒皆法華(せんけんみなほつけ)」と言われます。慶長十年(一六〇五年)、当地の領主、戸川氏が真言宗から日蓮宗へ改宗したことによって、地域に住む人々がすべて法華に帰依したのだそうです。

盛隆寺(じょうりゅうじ)は、通称「大寺」と呼ばれ、妹尾千軒皆法華の基礎を築いたとされる中心的なお寺です。JR瀬戸大橋線の妹尾駅から徒歩十分たらずのところにあります。私が訪ねたのは早朝でしたが、ご住職は御首題を書くことに気さくに応じてくれました。また、盛隆寺の周りには智応院、善立院、浄園院、勸行院、安祥院と五つのお寺があり、こちらでもご首題・ご朱印をいただくことができました。二泊三日の日程で訪れましたが、岡山市内だけでも、とてもまわりきれないお寺の数でした。

(平山徹・新聞記者)

# 浜辺でふれあいバーベキュー大会 身延別院青年会

身延別院青年会のメンバーが五月十五日、東京都江戸川区の葛西海浜公園で「ふれあいバーベキュー大会」を開きました。バーベキュー大会は、青年会が子育て支援活動の一環として毎年開いています。子どもたちと保護者あわせて五十人が参

加しました。

当日は海風が大変強かったのですが、メンバーの頑張りにより火を保ちながらコンロで食材を焼きました。参加者の中には、昨年のリピーターの方もいらっしやって、「今年もバーベキューに来

られてよかった」と話していました。

青年会では、これからも保護者・子どもを対象に続けていきます。また、前日から別院に泊まり込むなどして準備をしてくれた多くの青年会のメンバーに感謝します。ありがとうございました。



葛西海浜公園で開かれたバーベキュー大会



心を込めてお肉を焼く青年会のメンバー



風のイラストを描く子どもさん



記念写真はいかがですか

# 身延山から戻りました

よろしくお願いいたします



修徒 藤井 教瑞

私は昨年三月より本年四月まで、身延山僧道実修生として修行をし、その後本年四月から五月にかけて三十五日間、信行道場生として修行してまいりました。日蓮宗総本山身延山久遠寺にて足かけ一年二ヶ月にわたる修行を終了し、本宗の教師として帰ってまいりました。

身延山僧道実修生は、身延山久遠寺に住み込み、本宗の教師にふさわしい技量と心構えを身につけます。自主的な修行期間です。三十五年前に身延山九十世日勇上人の代に発足しました。その課業は朝早くからのお勤め、境内清掃、法要、お経練習、法話作成、写経とたいへん密であります。このような長期の修行に入ったことの無かった私にとっては、慣れないことばかりで、生活リズムを作ることも容易ではありませんでした。入ったばかりの頃は幾度となく家に帰りたいと思ったことを記憶しております。しかしそのようなときには、私を送り出してくださいました方を思い出したり、実際に身延山でお会いした檀家さん、信者さんの皆様のお言葉に励まされたりして、無事修了することが出来ました。これもひとえに皆様の温かいご声援の賜であると存じます。この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

## 常唱殿でお題目 富士山経ヶ岳団参

七月四日に営まれた富士山経ヶ岳大祭は、風が強かったもののお天気に恵まれました。檀信徒の一行は午前七時三〇分に別院を車で出発、午前十一時に現地に到着しました。例年よりも多くの人が参拝に訪れていました。別院の一行は常唱殿に上がり、法華経の序品、方便品、お自我偈を唱えた後、お題目をあげました。ご祈禱を受けた後、姥ヶ懐へ移動し、ここでもお題目を唱えました。一行はさすがにいい気持ちで経ヶ岳を後にしました。



日蓮聖人に見守られる檀信徒の皆さん



ひと休みする皆さん



例年より多かった参拝者



本堂で施餓鬼大法要



厳かに法要が営まれました

身延別院の盂蘭盆会施餓鬼大法要が、七月十六日午後一時から、本堂で厳かに営まれました。お盆(盂蘭盆会)の送り火の日に行っている恒例の行事です。今年は檀信徒約六十人が本堂に集い、全員で提婆達多品、お自我偈、お題目などを唱え、ご先祖をはじめ、有無両縁の諸精霊を供養しました。

震災復興願う短冊も

身延別院で七月七日、七夕祈願を行いました。地域の皆さんにお寺に親しんでもらおうと、平成十八年(二〇〇六年)から始めた行事です。

今年は七月五日に本堂前に笹竹が設置されました。「家内安全」「自然体な生活が送れますように」など、さまざまな願い事の書かれた短冊がたくさんつるされました。

また、今年は東日本大震災という、あまりにも大きな災害があったからでしょうか、被災地の復興などを願う短冊がいくつも見られました。「福島第一原発 早期復旧収束ならしめたまえ」といったものもありました。



本堂前に設置された笹竹には、色とりどりの短冊がつけられていました



原発事故の収束を願った短冊も

お稚児さん募集

身延別院では、十一月三日に行われるお会式で、今年もお稚児さん行列を予定しており、参加されるお稚児さんを募集します。お稚児さん行列は、檀信徒の皆さんをはじめ、地域の皆さんにもお会式に親しんでいただければと平成十九年(二〇〇七年)に復活させました。お題目と団扇太鼓の音に合わせて、小伝馬町界隈を八百メートルほど練り歩くもので、参加されるお稚児さんの数は毎年増え続けております。お稚児さんを囲んでの記念撮影も行われ、「とてもよい記念になった」と好評をいただいております。どうぞふるってご参加ください。

また、お会式で本堂の内外に飾り付ける花の製作を十月十九、二十日に行います。都合のつく日、都合のつく時間帯だけでもかまいません。一時間でも、二時間でも、お手伝いいただける方、どうぞよろしくお願ひします。

## 鰻供養放生会

鰻供養放生会が六月十八日、本堂で厳修されました。この放生会は、日本橋地区の鰻の蒲焼きの老舗・名店で作る日本橋蒲焼商組合が施主になり、鰻や淡水魚に対し日頃の感謝、供養の意味を込めて行っている法要です。毎年六月に行っています。組合の皆さんは本堂での法要の後、境内にある「鰻塚」の前で焼香をしました。鰻塚は、組合傘下の十八の店が昭和五十八年四月三日に建立した供養塔です。その後、組合の皆さんは隅田川まで移動し、鰻の稚魚を放流しました。



鰻塚の前で副住職がお経をあげました

## 今年も寺子屋修養道場

身延別院青年会は八月二十七、二十八日の二泊二日の日程で「寺子屋修養道場」を開きます。現在、参加される子どもさんを募集しています。

「寺子屋修養道場」は、青年会の子育て支援活動の一環として、昨年初めて開催されました。今回の修養道場は、子どもさんに「人とのふれあい」や「助け合いの心」を感じていただけるような内容をたくさん企画しています。

朝夕のおつとめをはじめ、日本橋船着き場から貸し切り船で隅田川下りを楽しんだり、日本橋三越の担当者から大地震に備える説明を聞いたり盛りだくさんの内容です。

小学校一年生から参加できます。参加費は六千円。どうぞふるってご参加ください。

## 青年会 今年もべつたら市に出店

身延別院青年会では、十月十九、二十日、東京・日本橋本町の宝田恵比寿神社を中心に開かれる「べつたら市」に今年も参加します。べつたら市へは一昨年、初めて参加し、揚げたこ焼きの店を、昨年は讃岐うどんの店を出しました。今年、何のお店を出店するかはメンバーが検討中です。檀信徒の皆さん、今年も是非お店を見に来て下さい。青年会のメンバー一同お待ちしています。

## 今後の予定

九月一日(木) 願満祖師終日お開帳

六日(火) 甲子 大黒天祭礼 午後二時より

二十日(火) 二十一日(月) 秋季彼岸会

二十六日(月) 彼岸会施餓鬼法要

午後一時より

二十三日(金) 総武霊園ならびに永代供養墓

彼岸法要

十月一日(土) 願満祖師終日お開帳

十九日(水)、二十日(木)

お会式花づくり、青年会べつたら市出店

十一月一日(火) 願満祖師終日お開帳

三日(木) 宗祖報恩会式

## 編集後記

東京では連日猛暑が続いています。今年は東日本大震災、原発事故の影響で節電が求められるなど、いつもとは違った夏と感じている人が多いのではないのでしょうか。被災地の一刻も早い復旧復興、原発事故の収束を願ってやみません。身延別院の七夕飾りにもそうした願いを込めた短冊が見られました。

願満第十二号をお届けします。次回の発行はお会式後を予定しています。